

### 第3回文化芸術部会議事概要

開催日時：令和7年12月23日（金）18：30～19：45

開催場所：名寄市役所 名寄庁舎第1委員会室

出席者：堀川 真、石本 義行、西岡 裕英、梅野 圭介、富田 耕一郎、菅 歩、  
高橋 祐美、林 雅裕

#### 1 開 会

#### 2 議 事

事務局：議事（1）「北海道教育委員会 部活動地域移行に係るアンケート調査結果について」の説明。

L委員：今後、本市の文化芸術部活動の方針を検討する上で、部活動の有無に関係しない活動環境の構築などの協議が必要だと考える。

事務局：議事（2）「文化芸術部活動の地域展開の考え方について」の説明。

L委員：吹奏楽部の地域展開について現状の把握や課題の整理が必要なことから、関係団体に話を伺ってきた。今後、部活動顧問と関係団体で協議する場が必要だと考えている。

事務局：議事（3）「新入生説明会資料について」の説明。

L委員：部会としてはエンジョイ型、スキルアップ型の活動機会の構築を目指して検討していくが、新入生説明会の段階においては、具体的な方針は示せないと考えている。今後、関係団体と丁寧な意見交換を行った上で検討していきたい。

J委員：運動部に比べて課題も多いと感じるが、文化芸術部活動の地域展開について議論を進めていかなければならないと考えている。活動場所の検討やコンクールの参加要件の調査についても必要だと考えている。

事務局：運動部会では、地域クラブ活動が学校を優先利用できる仕組みについて意見があった。現在、運動部が休日に利用している時間帯を学校開放利用事業として認定地域クラブ活動が優先的に利用できる仕組みを検討している。学校開放利用事業は、警備の都合で使用できる教室等が決まっているため、文化芸術部活動については検討が必要である。

G委員：文化芸術についても認定制度を整備することで、協力いただける団体が増えるのではないかと考える。

事務局：本市においては地域の団体数に限りがあるため、新たな団体を期待するより既存の団体と議論をすることが現実的だと考えている。

J委員：文化芸術においては、団体が多くの人数を抱えて特定の種目を指導するより、広く受け入れられる体制で様々な種目を体験できる環境を構築することが望ましいと考える。その場合でも、コンクールではなくても、披露する場を企画してあげることが望ましいのではないか。

L委員：スキルアップ型、エンジョイ型のような活動機会の構築を目指していくが、現段階で新入生説明会において具体的な説明はできないと考えている。

J委員：何も決まっていないことを説明するのはいかがか。

C委員：協議や検討を行っている段階のため決まっていないと説明するのは問題ないと考えている。各学校に設置されている文化芸術部活動の種目が把握しやすいように記載いただきたい。

E委員：文化芸術部活動についても、まずは休日の部活動を行わない方向で考えているのか。

事務局：国の方針としては、休日から地域展開の取り組みを進めていくことになっているが、地域の実情に応じて進めることは差し支えない。これまでの部会での協議を踏まえると、休日と平日を分けて取り組むのは難しいのではないか。

J委員：スキルアップ型とエンジョイ型は並行して進めていかなければならないのか。

事務局：切り分けて検討することも差し支えない。

L委員：エンジョイ型についても、参加する生徒の安全を確保するため、協会や連盟に所属している団体などに実施していただくのが望ましいと考えている。丁寧に議論をさせていただきたい。

P委員：文化芸術部活動は種目が少ないので、地域で様々な種目を体験できるという視点は大事だと感じる。興味があれば、顔を出せて、体験でその種目が好きになれば続けられるという仕組みを提供してあげることが望ましいのではないか。

L委員：地域の協力を得ながら引き続き検討させていただきたい。

### 3 その他

### 4 閉会

L委員：以上で、本日の部会を終了する。